

【事業実績】

1. (1)②にいがた古町いまむかしカルタをつくろう ワークショップ

会場：新潟市歴史博物館・古町地区周辺

内容：小学生を対象に古町地区の移り変わりを調べる。調べた内容からカルタを作る。

参加者数：20名

《開催日と実施状況》

第1回 7月27日(土)

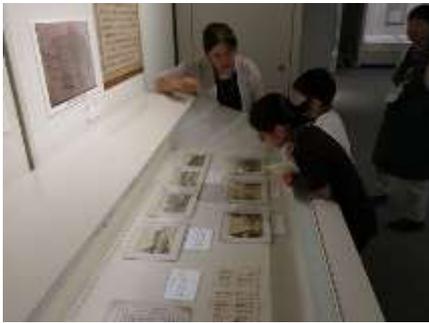
聞き調べの時間：

むかしの古町地区の様子を見てみよう
古い写真や、みなとぴあの展示をもとに、
むかしの町の様子を調べた。

第2回 9月14日(土)

歩き調べの時間：

古町地区のいまをみてみよう
カルタの札にするテーマを探すため
まちあるきをしながら、取材・撮影した



第3回 10月19日(土)

つくる時間1：読み札をつくろう

まちあるきや聞き調べで、カルタ
にしたい題材を選び、読み札を
考えた。

第4回 10月26日(土)

つくる時間2：絵札を描こう

読み札をもとに、絵札を手分けして
描いた。



【感想】

《参加者より》

- ・新潟のまちなかのことがわかっておもしろかった。
- ・古い絵や写真を見て、むかしと今が全然違うことがわかってびっくりした。
- ・手分けしてみんなでカルタをつくるのではなくて、自分ひとりでカルタの札を全部作りたいくらい楽しかった。

《参加者の保護者より》

- ・親世代も知らなかった新潟の歴史を子どもといっしょに知ることができた。
- ・子どもは毎回楽しみに参加していた。とても良い企画だったと思う。他の地区にも広げてほしい。

1. (1)④ にいがた古町いまむかしカルタ 完成記念おひろめカルタ大会

会場:新潟市歴史博物館 たいけんのひろば

内容:完成した“古町いまむかしカルタ”を使って、カルタ大会を実施、通常のカルタ取りに加えて、競技会として独自のルールを決めて、個人戦・団体戦を行った。

カルタ製作ワークショップに参加した小学生をはじめ、幼児連れの家族やカルタ好きの年配の方まで、幅広い年齢層の参加があった。また、参加者のうち、希望者には製品のカルタを配布した。

このカルタ大会をはじめ、一連のカルタづくりの様子については読売新聞社から取材を受け、2020年1月24日付朝刊にて事業の紹介記事が掲載された。

開催日:1月12日(日) 午後2時～3時

参加者数:35名

《実施状況》



【感想】

- ・自分が描いた絵が本物のカルタになって、他の人が楽しく遊んでいるのがうれしかった。
- ・自分が描いた絵札はぜったいに取りたかったから、2枚とも取れてよかった。
- ・役札(競技会ルールの絵札)をとることができたので点数計算が面白かった。
- ・こどもたちの描いた絵がどれも個性豊かで素敵だった。どの絵札も素晴らしかった。
- ・出来上がったカルタは、新潟のお土産にもなりそう。非売品ときいたが、博物館でミュージアムグッズとして販売すればいいと思う。
- ・大人も新潟の中心市街地のことを学べるカルタに仕上がっていると思う。大人も楽しく遊べた。

1. (2)② みんなの古町プロジェクト キックオフ講演会

「古町の歩み～その誕生と発展、役割の移り変わり」

会場:クロスパルにいがた(新潟市生涯学習センター)4階映像ホール

講師:伊東祐之(新潟市歴史博物館長)

内容:江戸時代から続くみなとまちとして栄えた新潟中心市街地の歴史的経緯を
紹介する

開催日時:2019年7月15日(祝) 13:00～15:30

参加者数:120人



【感想】

- ・ 本プロジェクトが古町活性化に結びつくように！なつかしい古町等懐かしく拝聴させていただきました。これから古町に何を求めればよいのか我々に投げかけて頂いたのでしょうか。政治的な問題もあり、難しいとは思いますが、具体的な、交通手段とか、古町の人々がもっと自分たちで考えて働きかけるべき？とか。
- ・ 江戸の「古町」から、新潟の町づくり、町の歴史、発展の歴史と話が進む。また、昭和の「古町」へとつながってきた。新潟町の歴史、成り立ち、移り変わりがよく分かった。
- ・ 時代によって町の役割が変わってくる。特に明治以降の近代化に伴って町の開発と時代による変化が興味深くお聞きしました。プロジェクトの目的がよくわかった。
- ・ 新潟町の歩み、古町の歩みについて、大変わかりやすくお話ししていただきました。これからの古町について考えていくいいきっかけになったと思います。「みんなの古町プロジェクト」大変いい企画だと思います。

1. (2)③ みんなの古町プロジェクト「昭和の古町を掘り起こしてみよう」ワークショップ

地図、写真や各自の記憶などをたよりに、昭和 30 年代から 60 年代の古町の出来事や街のにぎわいなどを掘り起こし、共有することを目的とした全 6 回のワークショップ。60 代・70 代から 20 代・30 代まで、幅広い年代層が参加し、まちあるきをしながら思い出を呼び覚まし、時には商店の方々に聞き取り調査を実施して、テーマごとに往時の古町の姿をまとめた。

参加者数:32人

【開催日と実施内容】

第1回 8月3日(土)

事業説明・各自の古町の思い出を共有するための洗い出し作業

第2回 9月7日(土)

まちあるき②
グループごとに分かれて思い出の場所探し



第3回 9月28日(土)

まちあるき②

前回に引き続き、現地調査

第4回 10月19日(土)

取りまとめ作業①

街歩きのグループごとにテーマを決定し、今昔の比較とエピソードの洗い出し



第5回 11月9日(土)

取りまとめ作業②

撮影画像と内容のすり合わせ

第6回 11月30日(土)

発表会

各グループの報告



【感想】

- ・グループの他の人の話から、自分の知らない町の様子が浮かび上がりとても楽しかった。
- ・普段と違う目線で町を見る作業が面白い。自分の知っている情報と目の前で見えているものをつなぎあわせる作業、点と点の間にあることが何かを想像し、調査する楽しさがわかった。

1. (1)④、1(2)④ 成果発表パネル展

①(1)古町いまむかしカルタをつくろうの成果と1(2)「昭和の古町を掘り起こそう」の成果をまとめたパネルを製作し、市内4カ所で展示した。

【展示会場および期間、観覧者数】

《1》新潟市民プラザミニギャラリー

2020年1月22日(水)～29日(水) 8日間

観覧者数:530人



《2》ほんぽーと(新潟市立中央図書館)

エントランスホール

2020年2月6日(木)～3月1日(日)

観覧者数:3210人



《3》新潟市歴史博物館みなとぴあ

エントランスホール

(1(2)「昭和の古町を掘り起こそう」のみ)

2020年3月14日(土)～31日(火)

観覧者数:376人



《4》ふるまちモール7 アーケード内

ピラー展示

(1(1)「古町いまむかしカルタをつくろう」のみ)

2020年3月19日(木)～31日(火)

(観覧者数は計測できなかったため、
展示実績のみの紹介とする)



2. (1)①、② 復活！白山詣で 事業検討会議の開催、関係各所との事前協議

6月から11月にかけて、随時実施した。

(事業検討会議)①第一回実行委員会にて検討

②古町まちづくり株式会社、新潟商工会議所の3者での検討会議

③第2回実行委員会にて検討

(事前協議先)

- ・上古町商店街振興組合、新潟中心商店街協同組合、柳都振興株式会社、株式会社とまつ衣裳店、有限会社美容室セース、新潟白山神社、新潟青陵大学 等

2. (1)④ 「復活！白山詣で -江戸時代の古町の賑わい再現-」プレ講演会

会場:新潟市民プラザ

講師:岡崎篤行氏(新潟大学工学部教授)、伊東祐之(新潟市歴史博物館長)

内容:「復活！白山詣で」のイベント実施に先駆け、現在の新潟古町花街の歴史的経緯や江戸時代に行われていた「白山詣で」について 広く紹介する。

この講演会については2020年2月3日付新潟日報朝刊にその様子が掲載された。

開催日時:2020年2月2日(日) 14:00~16:00

参加者数:220人



【感想】

- ・ ”復活白山詣で“は、白山神社だけでなく白山公園(現在の)周辺を含め(白山堀含む)で企画してほしい。今でも白山公園が古町芸妓にはとても似合う
- ・ 花街に残る文化が伝統的な日本文化であると聞いて、なるほどと思った。こういったものが地方都市に残されていることをよく考えたい。
- ・ 花街をふくめたまちづくりを考えることが大切になるのかもしれないと感じた。
- ・ テーマ副題の「新潟女の気概」、新潟女に支えられていた湊町新潟であったことが紹介された史料からもよくわかって、なるほどと思った。
- ・ 3月の「復活！白山詣で」、ぜひ見に行きたいと思う。背景にある歴史を知ると、もっとこのイベントがおもしろく感じられると思う。

2(1)⑤ 復活！白山詣で 一般参加者勉強会

2月23日(日)、3月8日(日)(全2回)で設定

うち、3月8日(日)開催分は、コロナウィルス感染症感染拡大防止、および3月20日のイベント本番を中止としたため、中止とした。

第1回勉強会

日時:2月23日(日) 10:30~12:00

会場:新潟市歴史博物館みなとびあセミナー室

参加者数:18人

内容:・「白山詣で」の歴史について

- ・当日の流れについて
- ・事前準備(衣装、ヘアメイク)の確認、スケジュール調整



【感想】

- ・ 歴史も学びながら昔と今の新潟のことを誇りに思える素晴らしい企画でした。イベントが中止になってしまい、残念ですが、これまでの準備や勉強会、とても楽しい企画でした。ぜひまた、このような企画をお願いします。
- ・ 勉強会を含め、企画・準備など、ここまで進めてこられた企画が中止になるのは残念だが、止むを得ないと感じています。勉強会での白山詣での歴史など、今まで知らなかった新潟の事を知る機会を得ることができました。ありがとうございました。
- ・ 着物が好き、ということで応募しましたが、このような歴史があったことを知るきっかけになりました。日頃歴史にあまり興味のない層も参加したいとおもえる企画だったと思います。ぜひ、機会があれば、「白山詣で」を現代に合わせた形で復活させてほしいです。

2(1)⑥ 「復活！白山詣で」行列イベント

3月20日(金)実施予定だったが、コロナウィルス感染症感染拡大防止のため、中止とした。

行列イベントについては、実施計画や開催の経緯について取材を受け、開催予定の記事が1月24日付朝日新聞朝刊、2月24日付新潟日報朝刊にて掲載された。